

# 難聴対策推進議員連盟

## 設立趣意(要旨)

先天性、後天性、加齢性など原因別のきめ細かな難聴対策を推進すること等を目標に設立。

## これまでの経緯

### 2019年4月10日 設立総会

テーマ:「患者の立場から見たわが国の難聴児対策について」、「海外の難聴医療について」

### 2019年5月15日 第2回総会

テーマ:「WHOにおける難聴対策の現状について」、「わが国における難聴対策の現状について」

### 2019年5月28日 第3回総会

テーマ:「日本耳鼻咽喉科学会の取り組みについて」、「自治体単位での先進的取り組みの紹介(長野県、静岡県)」

### 2019年6月4日 第4回総会

テーマ:「療育、手話、言語聴覚士の課題について」、「小児期に関する中間提言とりまとめ」

### 2019年6月6日 厚生労働大臣、文部科学大臣への提言申し入れ

## 議員連盟役員(一部)

会長	石原伸晃
会長代行	上川陽子
会長代理	富岡勉
副会長	武見敬三
幹事長	大塚拓
常任幹事	羽生田たかし
幹事	安藤たかお 今井絵理子
事務局長	自見はなこ
事務局次長	宮路拓馬



▲2019.4.10設立総会

## 2019年6月6日提言(新生児期・小児期)

先天性難聴は、1000人に1人と、先天性疾患の中でも発生頻度が高いにもかかわらず、公費負担による新生児聴覚検査の実施率は低く、また新生児難聴をめぐる医療体制、療育体制、教育体制などには地域により差がみられる。新生児期・小児期の難聴対策の充実を強く要望する。



▲2019.6.6柴山文科大臣への提言



▲2019.6.6根本厚労大臣への提言

## 今後の予定

- 2019年7月以降 認知症予防、補聴器等の医療機器も含む高齢者の難聴対策
- 2019年末 難聴対策の理念「ジャパンヒアリング ヴィジョン」(仮称)発表

(自見はなこ事務所作成)